

自殺予防の取り組みについて。

町長：沖永良部地区自殺対策連絡会とも連携し命や絆を大切に啓発活動に取り組む。



山崎賢治 議員

自殺予防の取り組みについて。

町長 自殺予防の推進を図るため、平成22年に徳之島保健所を事務局として沖永良部地区自殺対策連絡会が発足し、自殺問題の現状、特性を共有し、その課題を検討し、地域における自殺対策の推進を図っている。毎年9月10日から16日まで全国自殺予防週間となっており、本町では毎年「心の健康づくり」パンフレットを購入し全世帯に自殺予防啓発のため配布している。また、保健センター内に専用の「こころの相談」電話

を設置し、保健師、看護師による電話相談を毎週水曜日に受けている。また、日ごろから面接相談に応じると共に来所できないケースや引きこもり等のケースに対しては訪問し、自宅で相談に応じ、自殺予防に努めている。

今後とも、沖永良部地区自殺対策連絡会とも連携し、命や絆を大切に啓発活動等を通して、自殺予防に取り組んでいく。

さとうきびの振興策について。

町長 今期は長期の干ばつの影響を受けており、生育調査の結果「仮茎長、茎数ともに平年値を下回る予想。具体的取り組みについては同僚議員の質問に答弁済み。

パレイシヨの振興策について。

町長 常に変動する市場経

済の中で、足腰の強い産地として確立するために複数年の視野の中で、粘り強く生産コストの低減や反取向向上を図り、また安心安全な生産の取り組みによって消費者の信頼獲得や購買意欲を得ることが何よりも重要

であると考えている。また、野菜価格安定基金への負担を継続し価格低落時の経営安定をバックアップし、今後とも本町の重要品目であるパレイシヨの振興に努めていく。



太陽光発電施設（住吉）

公共施設の老朽化対策について。

町長 住吉小前の太陽光発電システムは、灌漑用水ポンプの電源としての実証研究を目的に施設運用が行われた。その後、隣接地に町が整備した溜め池の地下水汲み上げ用ポンプの電源設備として活用されており、平成8年に結成された「住吉地区水利用組合」へ施設管理を委託することにより、施設の維持管理及び畑かん用水の共同利用を図ってきたが、近年施設の老朽化や組合員の減少により運営面や管理作業等にも支障をきたしており、今後は組合員や地域の皆様と協議連携し施設の適正管理に努める。

